

秋田おんど

秋田県の観光イベントガイド

2002・夏 vol.1 創刊号

祭

西馬音内盆踊り
全国花火競技大会
七夕絵どうろうまつり
秋田竿燈まつり
奥の細道象潟全国俳句大会
ホタルフェスティバル



短い夏を謳歌するように、秋田の夏祭りは熱く燃え、人々の心にあたたかな余韻を残す。

西馬音内盆踊り

◎羽後町

1

全国花火競技大会

◎大曲市

5

秋田の夏祭り

7・8

七夕絵どうろうまつり◎湯沢市
花輪ばやし◎鹿角市

綴子大太鼓まつり◎鷹巣町
秋田竿燈まつり◎秋田市

土崎港曳山まつり◎秋田市
白澤神社みこしの滝浴び◎八森町
奥の細道象潟全国俳句大会◎象潟町
ホタルフェスティバル◎峰浜村
仙人学校・森の教室◎東成瀬村

夏のオススメ旅行——9

いい宿、いい店、見どころ紹介——11

イベントカレンダー——15

交通アクセス 読者プレゼント——16

観光のお問い合わせ——17

あきたフォト・ショートストーリーコンテスト——18

東北のものとは思われぬほど優美な踊りである。この踊りは、同じ優美さでも、佐渡や津軽系ほど活発ではない。ゆつくりと歩くことが基本で、それにしなやかな手振り、足振りがくわわった感がある。踊りの手は三度ばかり変化する。風にゆれる稲穂を連想させる。

恐る恐る人波をかきわけて進むおぼこ娘のときめきがある。かと思うと、豊かな年増おんなの色っぽさがこぼれる。

昭和四十年八月「民芸手帖」、
露木昶氏の「西馬音内紀行」より。



文 小西一三
写真 小松ひとみ

羽
うご
後
まち
町

国重要無形民俗文化財

「にしもないぼんどどり」

西馬音内盆踊り



ほんわかと暖かく感じられる秋田弁で語ってくれた丸谷祐子さん。
伝統の踊りを次の世代に伝える「西馬音内盆踊り保存会踊り手幹事長」でもある

2〜3歳から 踊りの輪の中に

盆踊りの3日間は、西馬音内の女たちにとっては特別な日でねえ。嫁に行つた娘も孫を連れて必ず帰って来るんだすものなあ。私の家では、娘2人に孫2人、私を入れて5人で出しています。孫の浴衣を準備するのも楽しいもんだすよ。

親の話によれば、私も2〜3歳の頃から踊りの輪の中に入り、見よう見まねで踊っていますから。西馬音内の人間は盆踊りのお囃子が体の底まで浸みついているもんだすねえ。お囃子を聞けば自然に踊りたくなってしまうんすもの。

昭和の20年代は踊りの列も今より短く静かな雰囲気でした。夜も遅くなると本当に踊れる人しか参加しないもんだすから、全体が実にきれいだったです。ところが今は見物するお客さんがいっぱい、カメラマンもいっぱい。歩くことができないくらいだすものなあ(笑)。

そう、私が小さい頃は男の人も端縫いの衣裳を着て踊っていたもんだす。端縫いを着るのは主に旧家のだんなさんで、踊りも実に上手なもんだすよ。

毎年欠かさず踊ってますけど、たった一回だけ中止になった年がありました。昭和20年8月15日は終戦の日。さすがに翌日の盆踊りは中止でした。



端縫い衣裳には、編み笠。
浴衣には、ひこさ頭巾をかぶる

